

上海外国语大学
2005 年度攻读硕士研究生考试试题
日语语言文学专业翻译试题

(150 分满分 180 分钟内完成)

一、把下列日语文章译成汉语。(30)

長い封建社会の因習の中で、人間性は窒息させられており、ことに女性が肉体や性を語ることは恥ずべきこと、罪深いこととして、一切の人間的なものと共に暗の中に閉じこめられていた。晶子の歌は明治の女たちの抑えがたい人間的叫び、迂瑞々しい表現を与えたのである。

もちろん、島崎藤村や薄田泣菫の新体詩にも、すでに女体の美しさが素材として用いられていたが、多くは象徴的、修辭的な色どりとして用いられたにすぎない。晶子の場合は、主体としての女の感情や心情を、瑞々しい肉体讃美と不可分なものとして官能の喜びにまで歌いあげ、近代短歌史に不滅の金字塔をうちたのである。

晶子は鉄幹によって育てられた。鉄幹は明治二八年、評論「亡国の音」に「魔娼論を為すものあり、禁酒論を為すものあり、而して一入のいまだ現代和歌排斥論を唱ふる者なきは如何」と述べ、旧態依然たる当時の和歌がどんなに「品質卑俗」で「国を危ふく」しているかを指摘し、和歌の革新を主張した。歌論としては内容に乏しく、国家主義的な大言壮語にすぎなかったが、上流階級の子女達の慰みものに墮していた和歌を一新し、日清戦争前後の「富国強兵、国威伸張」と

いう高揚した新興ブルジョアジーの浪漫主義を、和歌の世界に持ちこみ、新派和歌運動の烽火となりえた。

二、把下列日语会话文章（括号内不用译）译成汉语。（45）

二十分も遅れて、康子はホテルの玄関をはいて来た。白いブラウスを着て、唐草模様のマフラで頭を包み、自分の家へ帰って来た時のような気楽さで、ハンドバッグをぶらぶらさせていた。賢一郎が立って迎えると、「こんにちは。お待ちせしたかしら」と言った。それからロビイの奥を指さして、「お茶でも飲みましょう」と言い、先に立って歩いた。奥に喫茶室があることを、何度も来て知っているらしかった。

賢一郎は一步立ち遅れたという気持だった。喫茶室は中庭に面していて、静かだった。池があり、菖蒲が咲いていた。康子は自分でテーブルを選んで、先に坐った。始めから、男の指示に従うような気配は全く見られなかった。賢一郎は鋭敏にその事を感じていた。

冷たい飲みものを注文してから、彼女はまっすぐに賢一郎の顔を見て、かすかに笑った。

「あなたと二人きりでお会いするの、これが始めてね」

「これからはたびたび、会ってほしいな」と彼は先手を取返すようなつもりで言った。

「そうね。……でも、その前にわたし、少しあなたとお話ししてみたかったの。映画なんか、本当はどうでもいいのよ」

「話って、何のことです」

「つまりね……ざっくばらんに言った方がいいわね。あなたは私と結婚するおつもりなの？」

結婚という話に触れながら、羞恥の表情は見せなかった。聡明な眼が青く澄んで、相手の真意を探り出そうとするように、鋭く見据えていた。賢一郎は迂濶な返事はできなかった。

「父があなたに、何かそんなことを言いましたか」

「いや、伯父さんから直接には何も聞いていませんよ。豊子さんが何だか、そんなような口ぶりをしたことはあったけど……」

「その事でね、はっきりさせて置きたいのよ。父にはあなたと私と結婚させたい気持があるのよ。だけどそれは父の勝手な考えで、私とは何の関係もないの。私は自由よ。私たち婚約もなにもしていないんですからね。そんなことを父が勝手にきめてしまうのは、嫌なの」

「するとあなたは、誰かほかに結婚したい人が居るというわけ……」

「そう思われるの、一番嫌だわ。そんな人、誰も居ません。はっきり言うわ。ただ、私の意志を無視して父が勝手に話をきめるという事が、嫌なのよ。それだけよ」

「解りました。しかし、その事とは別に、僕はできたら、あなたと結婚したいな。あなたがもし、全く自由な気持で、賛成してくれるならば……」

「そう。有難う。だけど……それ、何なの。どうして結婚したいと思うの。……それ、あなたの愛情？ ……それとも何か、もっとほかの事を考えているの？ ……たとえば私の父に対する義理とか……」

「義理はあります。たくさん有りますよ。しかしそれと是とは少し違うから……」

「少しじゃないわ。全然関係ないことでしょう。あなたは父に義理があったにしても、私には何も無いでしょう。第一、義理なんかで結婚するんだったら、死んだ方がいいわ」

「僕はそんなことは考えていないな。結婚はやっぱり純粋に愛情でありたいと思うから……」

「だってあなた、愛情があるの？ ……ある訳ないでしょう。二人きりでお会いするのは、今日が始めてよ。私たち年に一度も会っていないわ。私だってあなたを嫌いじゃないわよ。だけど別に愛してもいいと思うの、今はね。……つまり白紙でしょう。これからの問題でしょう」

「そう。これからの問題です。しかし僕の気持は完全に白紙じゃないんだ。愛していると言ったら誇張かも知れないけど、気持の準備はできているんだ。いつでも踏出して行けるという気がしていますよ。これは義理も何もない、あなたが

赤の他人であっても同じことですよ。僕たちは今までチャンスが無かったというだけで、本当はお互いに愛して行けるんじゃないかなあ」

「何だか嫌だわ」と康子は小さな声で言った。「何だか、あなた無理してるみたいな気がするわ。やっぱり義理があるのね。……父に対する義理って、おかねでしょう。おかねの事は先になってから、おかねで返したらいいのよ。私はその義理に、気持が躓くんです」

「僕は義理という気持を完全に棄て去ることはできませんよ。もちろん伯父さんに対してね。しかしあなたに対してはもっと違う気持です。あなたが躓く気持はわかるし、僕もその事に躓くね。しかしお互いにもっと深い愛情がもてるようになったら、そんなこだわりは乗り越えて行けると思うな」

「そうね。……だけど私はいま、積極的にそうなりたいたいとも思っていないの。本当に白紙なのよ。その事、解ってもらいたいわ」

「わかりました。だけど、ときどき会っておしゃべりをするのは、かまわないでしょう」

「愛していなくても、会うんですか」

「普通の友人関係はみんなそうでしょう」

「そうね。……試験はどうでした？」

「多分、大丈夫だろうと思います。しかしまだあとがあるから、安心できませんよ」

「わたし今からちょっと、行きたい所があるの。今日はこれで失礼するわ」

「ほう？ ……映画の切符はどうするんです」

「あなたお友達でも誘って下さい。わたしはあんまり見たくないの。人がいっぱい集まる所って嫌いなものよ」

三、把下列汉语情景描写文章译成日语。（30）

风刮得很紧，雪片像扯破了的棉絮一样在空中飞舞，没有目的地四处飘落。左右两边墙脚各有一条白色的路，好像给中间满是水泥的石板路镶了两道宽边。

街上有行人和两人抬的轿子。他们斗不过风雪，显出了畏缩的样子。雪片愈落愈多，

白茫茫地布满在天空中，向四处落下，落在伞上，落在轿顶上，落在轿夫的笠上，落在行人的脸上。

风玩弄着伞，把它吹得向四面偏倒，有一两次甚至吹得它离开了行人的手。风在空中怒吼，声音凄厉，跟雪地上的脚步声混合在一起，成了一种古怪的音乐，这音乐刺痛行人的耳朵，好像在警告他们：风雪会长久地管治着世界，明媚的春天不会回来了。

已经到了傍晚，路旁的灯火还没有燃起来。街上的一切逐渐消失在灰暗的暮色里。路上尽是水和泥。空气寒冷。一个希望鼓舞着在僻静的街上走得很吃力的行人——那就是温暖、明亮的家。

四、把下列汉语会话文章译成日语。（45）

鲁梅在医院的病房内找到秦莹的时候，她正站在窗前发楞，连有人进来了都浑然不知。鲁梅走到秦莹身边问：“好点儿了吗？”秦莹吓了一跳，这才看见是那个年轻的女警官来了，她忙说：“哦，我已经好了，谢谢。”她请鲁梅坐到她的病床上，忧虑地问鲁梅：“你能不能跟大夫说说，让我出院？我已经没事了。”

鲁梅为难地说：“可是出了院你也不能回家呀，你们家你现在还不能回去，现场勘察取样还没有完呢。”

秦莹忙说：“我可以先同娘家去住，反正医院里我真不想呆了。”

鲁梅看了看秦莹，点头答应说：“好吧，待会儿我跟医院说说。不过现在你必须回答我几个问题。你们结婚这么久了，夫妻关系怎么样？”

秦莹垂下眼睑，叹了一口气说：“谈不到怎么样，既不吵架，也不亲热，平平淡淡。”

鲁梅问：“据你所知，他有外遇没有？”

秦莹摇了摇头，看着鲁梅说：“他的全部生活除了拼命赚钱就是玩命喝酒，却惟独没有女人。我倒真盼着他有个把外遇呢。”

“你这是什么意思？”

秦莹脸一红，知道自己说漏了嘴，忙尴尬地掩饰说：“我是说，我和雨林之间实在是太平淡了，倒不如真发生点什么事情，让这潭死水翻起点浪花也好。”

完